



# 大野市ゼロカーボンシティの 実現を目指して

第1回大野市脱炭素推進会議

2021.07.21

# 大野市ゼロカーボンシティ宣言

## 大野市ゼロカーボンシティ宣言



近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発し、まさに「気候危機」というべき状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が公表した特別報告書において、この目標を達成するためには、2050年頃には二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要との見解が示されています。

こうした中、昨年10月に内閣総理大臣が「2050年に脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

大野市においても、本年3月に策定した「第三期大野市環境基本計画」に基づき、脱炭素化に向けた行動の促進やまちづくりの推進に取り組んでいきます。

日本百名山の荒島岳をはじめとする緑豊かな山々や、大野盆地を潤す清らかな九頭竜川水系、市民の誇りである湧水地と地下水、日本一にも選ばれた美しい星空など、大野市には豊かな自然が残されています。

このかけがえのない自然環境を、私たちの将来の世代に引き継いでいくためにも、全世界が挑む気候変動という難題に対し、市民や事業者の皆さんと目指すべきゴールを共有して一体となって取り組んでいかなければなりません。

大野市は、2050年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に挑戦することを宣言します。



令和3年3月25日

大野市長 石山志保

宣言日 令和3年3月25日  
全国 342番目  
県内 4番目



福井県大野市長 石山 志保 殿

貴市におかれましては、この度、自治体として2050年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指されることを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で342自治体となりました。我が国としてのパリ協定の目標達成に向け、大変心強く感じております。

先日、国内各所に甚大な被害を及ぼした巨大台風の事例は記憶に新しいところですが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、このような水害等の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現するべき事態と考えております。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されました。この目標の達成に向けては、各国政府関係者の努力はもとより、地方自治体を始めとしたあらゆる主体、ノン・ステート・アクターの取組が極めて重要です。

環境大臣として、スペイン・マドリッドで開催されたCOP25で発信し、国際的にも高く評価されたところです。こうした日本国内の力強い取組をしっかりと発信するとともに、パリ協定の目標達成に向け、貴市及び他のゼロカーボンシティとともに取組のさらなる具体化に努めてまいります。

環境大臣 小泉進次郎

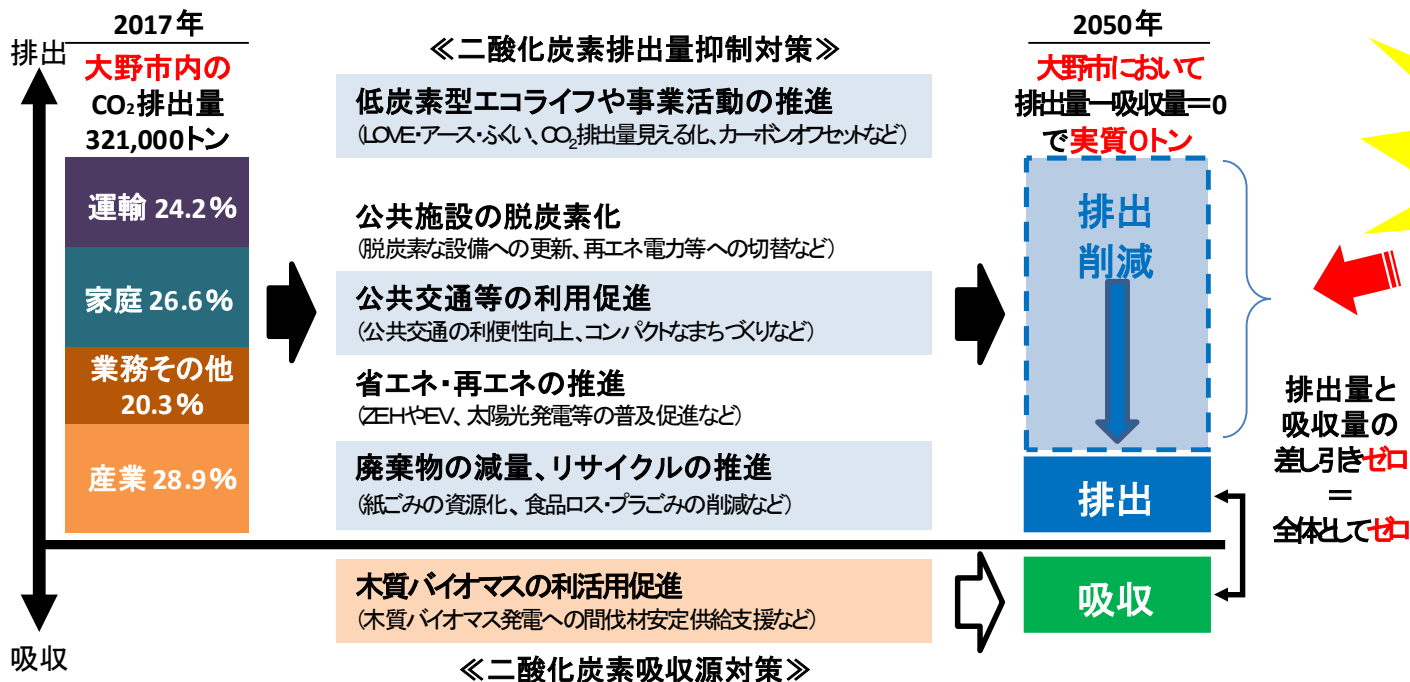
# ゼロカーボンシティとは？

## ゼロカーボンシティとは？

脱炭素社会にむけて、**2050年**までに、**二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）実質排出量ゼロ**に取り組むことを表明した地方公共団体のこと

## 二酸化炭素実質排出量ゼロとは？

工場や家庭、自動車などを発生源とする二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の**排出量**と、森林などによる**吸収量**を差し引いた**合計をゼロ**にすること。



# これまでの取組①

## ごみ処理エネルギー等の有効利用(H18～)

◆ビュークリーンおくえつ(大野・勝山地区広域行政事務組合)



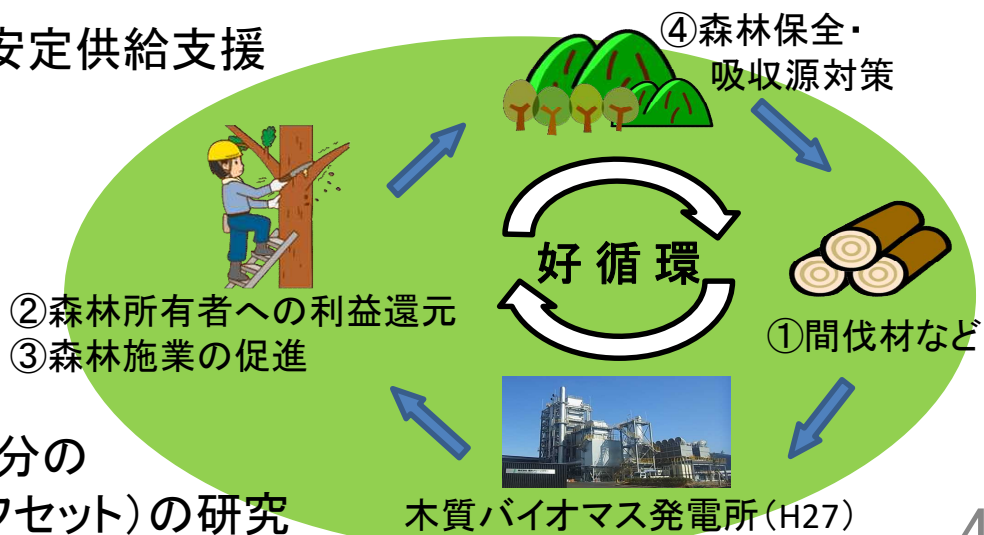
⇒今後の展開 施設の長寿命化、エネルギーセンターとしての機能強化(更新時)

## 未利用系木質バイオマス活用によるCO2吸収源対策(H27～)

◆木質バイオマス発電所への間伐材等の安定供給支援

(農業林業振興課)

- ①間伐材等の安定供給
- ②森林所有者への利益還元
- ③森林施業の促進
- ④森林保全、CO2吸収量増大



⇒今後の展開 森林経営によるCO2吸収分のクレジット化(カーボンオフセット)の研究

# これまでの取組②

## その他

### ◆急速充電設備の設置状況（市公共施設）

- ・ 本庁 1基
- ・ 道の駅 九頭竜 1基
- ・ 道の駅 越前おおの荒島の郷 1基 計 3基

### ◆太陽光発電設備（市公共施設）

- ・ 富田小学校 設置年度：H15 発電能力：5.4kw 用途：全量自家消費
- ・ 和泉小中学校 設置年度：H17 発電能力：10kw 用途：全量自家消費
- ・ 本庁 設置年度：H26 発電能力：20kw 用途：全量売電
- ・ 結とぴあ 設置年度：H26 発電能力：10kw 用途：全量自家消費

### ◆エコカー

- ・ 電気自動車1台 ハイブリッド自動車3台 ※すべて本庁共用車

### ◆その他

- ・ エコチャレふくい等による普及啓発
- ・ 薪ストーブ 2基（本庁）
- ・ 市事務事業における省エネ（大野市EMS）
- ・ 中小企業資金融資制度 低金利、長期間の返済、保証料助成、利子補給

# ゼロカーボンシティ実現のために

## 脱炭素化をめぐる国の動き

- ・R2.10 国・2050年脱炭素化宣言 →全国的に脱炭素化の取組が加速化
- ・R3.4 国の2030年度CO2排出量削減目標を▲26% →▲46%に大幅修正
- ・R3.6 地域脱炭素ロードマップ
  - 地方 民生部門(家庭・事業所)の脱炭素化
  - 国 集中期間(~2025年度)に施策総動員の積極支援
- ・R3.6.18 骨太の方針(経済財政運営と改革の基本方針2021)
  - 「グリーン社会の実現」・・・成長の原動力の1つ

これを機に、大野市において脱炭素化と地域課題の同時解決を目指すためには、スピード感を持った取組に加え、長期的な視野に立った取組方針が必要

- ①脱炭素関連の施策・取組の推進強化
- ②長期的なビジョン(大野市脱炭素ビジョン(仮))の策定

# ①脱炭素関連の施策・取組の推進強化

## ◆R3.6.18 骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針2021）

⇒**グリーン社会の実現** …「成長を生み出す4つの原動力」の1つに位置付け

各省庁 今後、ますます、脱炭素の取組の重点化が進む予想

### 各省庁の取組

関係省庁	取組内容	関係課	関係省庁	取組内容	関係課	関係省庁	取組内容	関係課
総務省	人材教育(専門人材の受入)	環境・水循環課、総務課	国土交通省	LCCM住宅・ZEH等の普及促進(CO2削減、排出0)	交通住宅まちづくり課	国土交通省	革新的建設機械の普及促進	建設整備課、交通住宅まちづくり課、産業政策課
	研修開催	環境・水循環課、総務課		省エネ改修促進	交通住宅まちづくり課		道路照明のLED化	建設整備課、防災防犯課
内閣府	SDGsを絡めた事業	政策推進課		省エネ性能等の認定・表示	交通住宅まちづくり課		ダム再エネ導入	環境・水循環課
	デジタル化	政策推進課		木造建築物の普及拡大	交通住宅まちづくり課		下水道等のインフラサービスの省エネ化	上下水道課
	ネットワーク形成(産学金官の連携)	産業政策課		インフラ等における地域再エネ活用促進	財政経営課、施設所管課		質を重視する建設リサイクルの推進	総務課契約管理室
	資金調達(交付金事業)	事業執行課		公的賃貸住宅、道路、公園等の空間を活用した太陽光発電の導入拡大	建設整備課、財政経営課、施設所管課		中小工務店の省エネ住宅生産体制の整備・強化	交通住宅まちづくり課
	資金調達(金融機関との連携)	産業政策課		省CO2に資する都市のコンパクト化	交通住宅まちづくり課		下水道バイオマス、下水熱等の下水道エネルギーの利用推進	上下水道課
農林水産省	化学肥料、化学農業の軽減	農業林業振興課		環境性能に優れた不動産への投資	交通住宅まちづくり課		小水力発電等の地域再エネ利用の円滑な推進	環境・水循環課
	有機農業の拡大	農業林業振興課		次世代自動車の普及	環境・水循環課、税務課		歩行者空間の形成等の推進	建設整備課
	食品製造業の生産性向上	産業政策課		自動車の電動化を活用した交通・物流サービスの推進	産業政策課		スマートシティ実装化の推進(ICT等の新技術を活用したまちづくり)	交通住宅まちづくり課
	持続可能性に配慮した原材料の輸入	産業政策課		レジリエンス機能の強化に資するEVから住宅に電力を供給するシステムの普及(災害時でも電力を住宅に供給できる自動車)	交通住宅まちづくり課、防災防犯課		防災・減災のためのすまい方や土地利用の推進	防災防犯課、政策推進課
	林業用苗木のエリートツリー化	農業林業振興課		流域治水と連携したグリーンインフラによる雨水貯留・浸透	建設整備課	経済産業省	新電力を核とした地域カーボンニュートラル	産業政策課
	省エネ型施設園芸設備の導入(再エネ含む)	農業林業振興課		都市緑化の推進	建設整備課		地域エネルギー振興支援	産業政策課
	間伐材の適切な森林管理	農業林業振興課		生態系ネットワークの保全・再生・活用	環境・水循環課	環境省	公共施設での自家消費	施設所管課
	バイオ炭による炭素貯留の拡大	農業林業振興課		健全な水循環の確保	環境・水循環課		民間企業での自家消費	産業政策課
	農林業機械の電化・水素化等	農業林業振興課		グリーンボンドなど投資制度の活用	産業政策課		住宅での自家消費	交通住宅まちづくり課
	高層木造建築物の拡大	農業林業振興課		物流デジタルの推進	産業政策課		地域共生型太陽光発電	財政経営課
	メタン抑制ウシの活用	農業林業振興課		インフラ施設長寿命化	施設所管課			
	高機能合成樹脂のバイオマス化を拡大	農業林業振興課		省CO2に資する材料等の導入推進	建設整備課、交通住宅まちづくり課			
	カーボンオフセットによる販売	農業林業振興課、産業政策課、環境・水循環課		建設施工分野におけるICT施工の推進	建設整備課、交通住宅まちづくり課、総務課契約管理室			

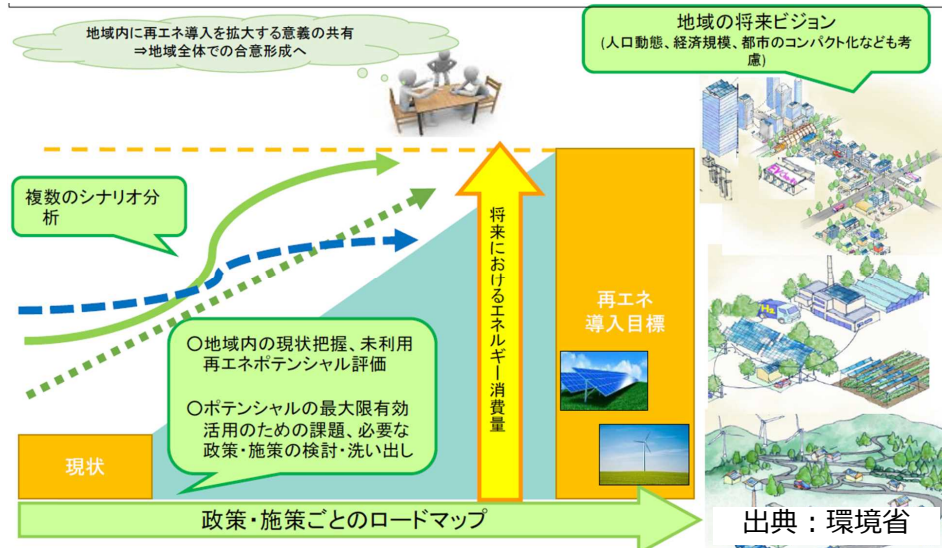
資料：国地方脱炭素実現会議資料を基に大野市作成

全庁体制の下、脱炭素な施策・取組の**推進強化**へ

# ②長期的なビジョン(大野市脱炭素ビジョン(仮))の策定

◆大野市脱炭素ビジョン(仮)

2050年脱炭素が実現している望ましい姿を描き、その達成に向け、地域課題との同時解決が図られるような取組方針等を明らかにした計画



	R3/10-R4/1	5 - 7	8-10	11-R5/1
基礎情報の収集・現状分析	→			
将来のCO2排出量の推計	→			
望ましい将来の絵姿の作成		→		
脱炭素シナリオの作成		→		
再エネ導入目標の検討			→	
実現方策(方針・プロジェクト等)の検討				→
推進体制の構築		→		
協議会の運用	◆		◆	◆





# 令和3年度 各部の取組

# 令和3年度 各部の取組（行政経営部）

## 公共施設の設備更新時の脱炭素化

### ◆公共施設の設備更新時に合わせた脱炭素化

公共施設の建物や設備の整備、改修、更新に当たっては、省エネや再エネ導入による脱炭素化を推進。（大野市公共施設等総合管理計画に基づき実施）

### ◆令和3年度の取組

- うらら館や図書館など、近く設備更新を予定している施設のエネルギー診断を実施。
- その施設にとって最適な更新を検討。

### ◆令和4年度以降の取組

- 施設の更新。（省エネ化・再エネ導入）
- 公共施設のみならず、民間事業者と連携。（横展開）



# 令和3年度 各部の取組（地域経済部）

## プラスチックごみの削減

### ◆生分解性マルチの利用促進補助【R3～】（農業林業振興課）

従前の農業用マルチ・・・収穫後に回収し、農協等を通じ産業廃棄物として処分

【問題】 機械化が困難なため、重労働

【問題】 廃プラスチック



生分解性マルチへの転換

化石燃料由来の農業用マルチの廃棄作業削減

**同時解決!!**

人口減少、高齢化を  
見据えた  
農作業の省力化



脱プラスチック

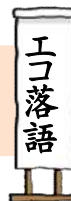
# 令和3年度 各部の取組（くらし環境部）

## 脱炭素型エコライフの普及啓発

### ◆ゼロカーボン推進事業（環境・水循環課） 【9月～1月】

#### ①笑って学ぶ！Eco落語

環境をテーマにした創作落語を通じて、楽しく、環境問題について考える



【対象】中学生・  
公民館（高齢者）

#### ②楽しく学ぶ！Eco紙芝居

環境をテーマにした紙芝居を通じて、楽しく、環境問題について学ぶ。振り返り学習も実施。



【対象】小学生・  
児童館

#### ③知れば納得！Ecoリーフレット&パネル展示

家庭でできるCO2排出量削減の取組をまとめたリーフレットやパネルを作成。経費削減や健康増進効果も合わせて紹介

【対象】市民全般

#### ④頼って安心！結のEco協賛店

省エネ家電や太陽光発電設備、エコ住宅などを取り扱う市内に事業者を募集し、Ecoリーフレット等で紹介。



【対象】市内事業者  
（家電・工務店）

#### ⑤遊んで学ぼう！Eco遊園地

人力発電で動く乗り物、エコドライブシミュレータを設置、来場者にアンケート&パネル展示で地球温暖化等を学ぶ。VIO開催

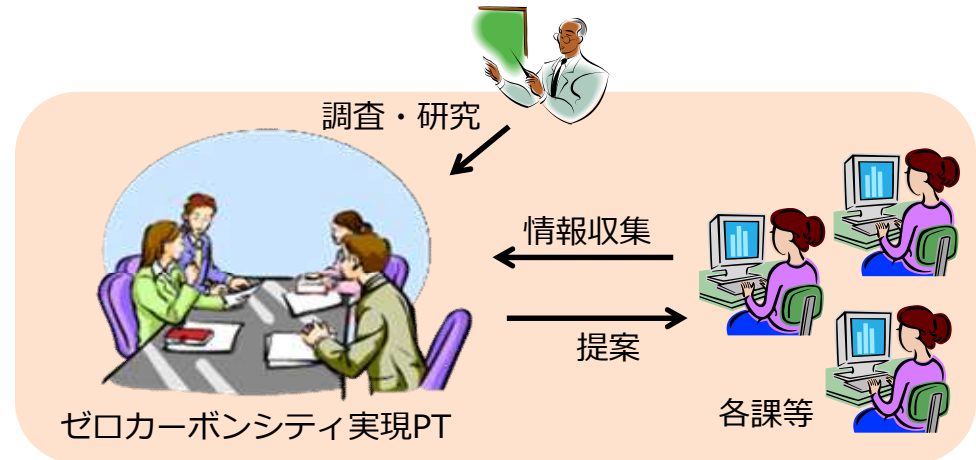
【対象】市民全般  
（子育て層）

# 令和3年度 各部の取組（くらし環境部）

## 脱炭素人材の育成

### ◆庁内PT結成

- ・ 事務事業でできることづくり
- ・ 新たな施策の検討
- ・ 随時 オンライン講座等



### ◆地域中核人材の育成

再生可能エネルギー促進、脱炭素化に向けた

- ・ ネットワーク構築
- ・ 相互学習



# 令和3年度 各部の取組（くらし環境部）

## 食品ロスの削減

### ◆フードドライブの実施（「県民せいきょう」との連携）

6月11日  
～13日

第2回  
12月



家庭や職場で余っている食べきれない食品を持ち寄り、必要としている福祉団体・施設などに寄付する活動

→生活困窮者や子ども食堂への食料支援

→食品ロス削減

**同時解決!!**

### ◆学習会などの開催

（出前講座＋「県民せいきょう」連携講座）

### ◆普及啓発活動

（広報おおの、HP、SNS、チラシなど）

### ◆「おいしいふくい食べきり運動」への協力 ・・・など

#### ☀️おいしいふくい食べきり運動とは？

##### STEP1

家庭やホテル・レストランなどで、おいしい福井の食材を使っておいしい料理を作り



##### STEP2

作られた料理を  
おいしく食べきって



##### STEP3

残ってしまった料理は、家庭で新たな食材としてアレンジ料理に活用し、外食時には持ち帰って家庭で食べきろう！

